

リ三月マテノ獄ニ處シ二十六ヲラレクヨリ一  
百(ヲラレク)マテノ罰金ヲ命ス可シ  
接木一本ニ付テハ八日ヨリ十五日マテノ獄ニ  
處シ二十六ヲラレクヨリ五十ヲラレクマテノ  
罰金ヲ命ス可シ或ハ此一刑ニ處ス可シ然レモ  
獄三年罰金五百ヲラレクヲ越ス可カラス

○埃及

第三百三十條 何人ニ限ラス未タ刈取セザル  
穀物又ハ天然ニ生シ或ハ人エヲ以テ植附ケ  
タル樹木又ハ其他ノ植附物ヲ伐リ或ハ荒ラ  
シタル者又ハ他人ニ属スル葡萄園或ハ園庭  
ヲ荒ラレ或ハ接木ヲ損害シタル者ハ一週ヨ  
リ少ナカラス十五日<sup>誤</sup>ヨリ多カラサル時間  
禁錮ノ刑ニ処セラレ可シ

第百六十五條 何人ニ限ラス公ケノ資益又ハ装  
飾ノ為メ設ケシ建物或ハ記念ノ標識ヲ破壊毀  
傷シ又ハ寺院市街遊歩場市場公園ニ植ヘタル樹  
木ヲ伐リ或ハ毀傷シタル者ハ一月ヨリ少ナカラス一年  
ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラレ且ツ百ヒアスト

ルヨリ少ナカラス千曰アストルヨリ多カラサル罰金ヲ言  
渡サル可シ但シ此規則ト犯人ヲシテ其毀害ノ償ヲ  
為サシム可キ規則ト相觸ル、ナカル可シ

○英吉利

凡人ノ樹木ヲ故ラニ損害スル者ハ、  
封度以上ハ重罪ニ坐シ五年ノ徒罪ニ處シ一  
リング以下ハ治安裁判所ニ於テ即日處断ス  
若シ園裏ノ菜蔬及ヒ籬垣等ヲ故ラニ損害スル  
者ハ治安裁判所ニ於テ推問處断ス

損害樹木

前式ニ依ヒ  
別紙トナシ

第七十九 逃及ヒ軍役ヲ規避スル等ノ罪

○獨逸

第百四十條 陸軍又海軍隊ニ編入ナルヲ逃  
レシトスル為メ免許ナク連邦國ノ領地ヲ出  
テ又兵籍ニ入ル年齢ニ及ンテ外國ニ止リ國  
ニ歸ラサル者ハ五十ターレヨリ千ターレ  
ルニ至ル罰金又一月ヨリ一年ニ至ル禁獄ニ  
處ス可シ

若シ其犯人ニ宣告スルキ重キ罰金及ヒ裁判  
費用金ニ充ツ可キ為メ其金高ニ減ル財産ヲ  
取リ押ヘキヲ裁判官ニテ必要ト見込時ハ  
其所置ヲ為シ得ヘシ

第百四十一條 独逸人ヲ外國政府ノ兵役ニ編  
入シ又ハ外國政府ノ兵役ニ編入セン為メニ

之レヲ其外國ニ誘フタル者又独逸國ノ兵卒  
ヲ逃亡セレシメント故ラニ教唆レ又其逃亡  
故ラニ容易ニ為サレシメタル者ハ三月ヨリ三  
年ニ至ル禁獄ニ處ス可レ

之レヲ犯シトセシ所業モ亦罰ス可レ  
第百四十二條 自ラ為セル事ニヨリ又他人ノ  
為マル事ニヨリ自己ノ身體ヲ不具ニシ又他  
ノ方法ヲ以テ故ラニ公務タル兵役ニ堪ヘサ  
ル様ニ致シタル者ハ一月ヨリ短カラサル禁  
獄ニ處シ其餘公權ヲ剝奪ス可レ

他人ノ頼ミヲ受ケ其人ヲ公務タル兵役ニ堪  
ヘサル様ニ致シタル者モ同刑ニ處ス可レ  
第百四十三條 公務タル兵役ノ全部又其一部  
ヲ逃レントスルノ意ニテ詐術ヲ用ヒタル者  
ハ禁獄ニ處シ其餘公權ヲ剝奪ス可レ

第百四十四條 事ニヨセ獨逸人ヲ欺キ又ハ故  
ラニ不実ノ事ヲ主張シ又國ヲ教唆スル事ヲ  
業トセレモノハ一月ヨリ二年ニ至ル禁獄ニ  
處ス可レ

○白耳義

第二百三條 凡ソ公役若クハ公務ヲ免レ或ハ免  
 レシメント欲シ醫ノ姓名ヲ用ヒ或ハ自ラ詐テ  
 醫ト称シ疾病若クハ瘵疾者ノ証券ヲ偽造スル  
 者ハ八日ヨリ一年マテノ獄ニ處ス可シ

第二百四條 凡ソ公役公務ヲ免レシムル為メ瘵  
 疾病等ノ無實証券ヲ典フル醫師ハ八日ヨリ  
 二年マテノ獄ニ處ス可シ

若シ財ヲ受ケ若クハ受ク可キラ美諾スル者ハ  
 一年ヨリ五年マテノ獄ニ處シ且ツ第三十三條  
 ノ奪権ニ處スルヲアリ

英吉利

凡海陸軍ノ士卒軍隊ヲ棄テ脱走シ若クハ他人  
 ヲ指教シテ脱走ヒシムル者ハ軍法裁判所ニ於  
 テ專断スルヲ委任ス余按スルニ此刑死ニ処  
 スルヲアラシ  
 若シ常人ノ全ク軍籍ニ入ラス一時隨意ニ兵隊  
 ニ加ハル者ハ他ノ兵士卒ヲ教唆シテ軍隊ヲ棄  
 放ヒシムル者ハ尋常裁判所ニ於テ四拾封度ノ  
 罰金ヲ出サシメ仍ホ判事ノ適意ニ依テ六ヶ月  
 ニ止ル入獄ヲ加フ軍人逃走

第八十 集會ノ罪

○佛蘭西

第二百九十一條 二十人以上ニテ法教文學政  
 事上ノ事及ヒ其他ノ事ヲ目的トシテ毎日為  
 ス所ノ集會又ハ期日ヲ定メテ為ス所ノ集會  
 ノ豫メ政府ノ允許ヲ受ケ且官署ヨリ命レタ  
 ル規則ヲ遵守スルニ非サレハ之ヲ為ス可カ  
 ラス

但シ其集會ヲ為ス家屋ニ居住スル者ハ此條  
 ニ記シタル集會ノ人真中ニ加ヘ算ス可カラ  
 ス

第二百九十二條 政府ノ允許ヲ得スレテ前條  
 ニ記スル集會ヲ為シ又ハ其允許ヲ得タル後

ト雖モ其集會ヲ為スニ付キ官署ヨリ命シタル規則ヲ猶守セサル時ハ其集會ヲ解散セシム可シ

其集會ノ長又ハ指揮者支配人ハ十六フランシクヨリ少カラス二百フランシクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百九十三條 如何ナル國語ヲ問ハス會話勸諭禱神拜神ヲ為シ又ハ書籍ヲ講シ、貼附ヲ為シ或ハ其他種類ノ如何ヲ問ハス書類ノ刊行分派ヲ為シ其集會ニ於テ輕重ノ罪犯ヲ挑唆スルトナル時ハ其集會ノ長又ハ指揮者支配人百フランシクヨリ少カラス三百フランシクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク且三月ヨ

リ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラル可シ但シ此規則ト其集會中ノ輕重罪犯ヲ挑唆シタル各人ヲ更ニ重キ刑ニ処ス可キ規則ト相觸ル、トナカル可ク且其輕重罪犯ヲ挑唆シタル各人ノ刑ハ其集會ノ長又ハ指揮者支配人ノ受ク可キ刑ヨリ更ニ輕キトナカル可シ

第二百九十四條 邑廳ノ允許ナクシテ家屋又ハ房室ノ全部或ハ一部ヲ前數條ニ記シタル集會ノ為メ又ハ禮拜ヲ行フ為メニ使用セシメ又ハ使用スルトヲ許諾セシ者ハ縱令其集會政府ノ允許ヲ受ケシモノタル時ト雖モ十六フランシクヨリ少カラス二百フランシクヨリ



多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

罰金

○英吉利

凡誓詞盟約等ヲ為シテ非法ナル朋黨ヲ連結シ  
 或ハ官許ヲ得ルヲ能ハサル事件ノ廻業ニ名印  
 シ若クハ非法ナル朋社ニ投入シ或ハ之ニ資力  
 扶金スル者ハ並ニ治安裁判所或ハ刑法裁判所  
 ニ於テ推問シ五年ヨリ七年ニ止ル徒罪ニ処シ  
 或ハ二年ニ止ル入獄ニ処断ス

為誓詞盟約連結  
明黨

同法省

第八十一 無籍者乞丐者ニ関スル罪

○佛蘭西

第二百六十九條 浪遊ハ輕罪ナリトス

第二百七十條 浪遊者トハ一定ノ居所及ヒ營

生ノ方法ナク平常職業ヲ行ハサル者ヲ云フ

第二百七十一條 浪遊者裁判所ヨリ浪遊ノ罪

アルノ言渡ヲ受シ時ハ其事ノミヲ以テ三月

ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮

ノ刑ニ處セラル可シ但シ其浪遊者ハ其刑ヲ

受ケレ後五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラ

サル時間政府ノ監察ヲ受ク可シ

然ル十六歳以下ノ浪遊者ハ禁錮ノ刑ニ處ス

可カラス然ル浪遊者タルノ証アル時ハ其證

ノミヲ以テ滿二十歳ノ齡ニ至ル迄ノ時間政  
府ヨリ監察ヲ為ス可シ但シ二十歳ニ至ラサ  
ル前ニ海陸軍ノ兵籍ニ入ル約定ヲ為シタ  
時ハ例外ナリトス

第二百七十二條 裁判所ヨリ浪遊者タルノ言  
渡ヲ受ケレ者若レ外國人タル時ハ政府ノ命  
ヲ以テ佛蘭西領地外ニ送致セララル可シ

第二百七十三條 佛蘭西ニ於テ生レシ浪遊者  
ハ縱令控訴及ヒ取消ヲ為ス可カラサル裁判  
言渡ヲ受ケレ後ト雖モ其生レタル邑ノ會議  
ヨリ其引渡ヲ得ンコトヲ請ヒ又家資分散ノ者  
ニ非サレハ何者ヲ論セス其浪遊者ヲ引受ク  
可キ保証人トナルコトヲ得可シ

政府ニ於テ其引渡ノ願ヲ許ルレ又ハ保証ノ  
旨ヲ允許シタレ時ハ政府ノ命ヲ以テ其浪遊  
者ヲ其引渡ヲ願ヒシ邑ニ送致シ又ハ其保證  
人ノ願ヒニ因リ其浪遊者ノ居住ノ為メ定メ  
タル地ニ之ヲ送致ス可シ

第二百七十四條 乞丐者ヲ扶助スルカ為メ政  
府ヨリ建設ヒシ貧院ノアル地ニ於テ食ヲ乞  
フ者ハ三月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサ  
ル時間禁錮ノ刑ニ處シ且其刑期ノ滿シ後其  
乞者ヲ入レ置ク場所ニ送致ス可シ

第二百七十五條 貧院ヲ建設セサル地ニ於テ  
食ヲ乞フコトヲ常慣ト為ス強壯ノ者ハ一月ヨ  
リ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ

刑ニ処セラレ可シ

若シ其乞丐者其居住スル縣ノ外ニ於テ捕獲  
テ受ケシ時ハ六月ヨリ少カラズ二年ヨリ多  
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

第二百七十六條

乞丐者縱令ニ病ニ罹ルト雖モ人ヲ脅迫シ  
タル時又ハ家屋ノ所有者或ハ其家屋ニ住  
居スル者ノ許ルシテ得ルシテ其家屋又ハ  
其家屋ニ屬スル範圍内ニ入レ時  
乞丐者創傷又ハ疾病ヲ偽ル時

乞丐者夫ト婦父母ト其若年ノ子替者ト其  
指導者トヲ除クノ外相連行シテ食ヲ乞フ  
時

此等ノ場合ニ於テハ六月ヨリ少カラズ二年  
ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラレ可  
シ

①浪遊者ト乞丐者トニ通シ用フル規則

第二百七十七條

乞丐者又ハ浪遊者何レノ方法ヲ論セス其  
状貌ヲ詭ハリテ捕獲ヲ受ケシ時

此等ノ者兵器ヲ用フルトナク又ハ脅迫ヲ  
行フトナシト雖モ兵器ヲ携ヘシ時

此等ノ者鑓塔竿又ハ其他竊盜及ヒ其他ノ  
輕罪ヲ行フ可キ器具或ハ家屋内ニ潛入ス

ルニ用立ツ可キ器具ヲ持セシ時  
此等ノ場合ニ於テハ二年ヨリ少カラズ五年

ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラル可  
シ

第二百七十八條 百「アラシク」以上ノ價アル一  
箇又ハ教箇ノ物件ヲ所持シテ其来由ノ證ヲ  
陳述セサル乞丐者又ハ浪遊者ハ第二百七十  
六條ニ記シタル刑ニ処セラル可シ

第二百七十九條 一千八百六十三年五月十三日  
如左改ム「乞丐者又ハ浪遊者何事ヲ論セス人  
ニ對シテ暴行ヲ為レ又ハ為サントセシ時ハ  
二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間  
禁錮ノ刑ニ処セラル可シ但シ此規則ト其暴  
行ノ種類及ヒ景状ニ因リ更ニ重キ刑ニ処ス  
可キ規則ト相觸ル、トナカサル可シ

若シ其暴行ヲ為シ又ハ為サントシタル乞丐  
者又ハ浪遊者ニ第二百七十七條ニ記シタル  
景状中ノ一「アル」ニ於テハ徒刑場内ニ於テ使  
役スル刑ニ処セラル可シ

第二百八十條 廢ト

第二百八十一條 前ニ記シタル贋造及ヒ變造  
ノ證券往來手形共士ノ往來手形ヲ所有スル  
者ニ對シテ定メタル所ノ刑ヲ浪遊者又ハ乞丐  
者ニ適用スル時ハ其刑中ノ至重ノ刑ヲ用フ  
可シ

第二百八十二條 前教條ニ記シテ刑ニ處セラ  
レタル乞丐者ハ其刑期ノ終リシ後五年ヨリ  
少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ監

祭ヲ受ク可シ

諸法

70 白耳義

第三百四十二條 凡左ノ犯人ハ皆八日ヨリ一月

マテノ獄ニ處ス可シ

主人ノ許可ヲ待タスシテ物ヲ乞ヒ家屋若クハ

其附屬ノ所ニ入ル浮浪乞丐瘵疾創傷ヲ佯稱シ

テ乞丐スル者

親子夫妻及盲人瘵疾其扶助人等ニ非スレテ群

ヲ為シ乞丐スル者

第三百四十三條 浮浪乞丐ノ徒行装ヲ変スル者

ハ八日ヨリ二月マテノ獄ニ處ス可シ

第三百四十四條 凡浮浪乞丐ノ徒偽造ノ証書及

ヒ路券即チ旅行票ヲ所持スル者兵器ヲ所持ス

ル者鑪鉤其他重輕罪ヲ犯シ盜賊ヲ為シ或ハ人

司法省

ノ家屋ニ入ルニ便スル要具ヲ所持スル者ハ皆  
三月ヨリ一年マテノ獄ニ處ス可シ

第三百四十五條 凡ソ浮浪乞丐ノ徒物ヲ乞フ為  
メニ人ノ身體若クハ財産ヲ害セシト要シ脅迫  
スル者ハ一月ヨリ一年マテノ獄ニ處ス可シ  
若シ其身體ニ暴舉ヲ加フル者ハ六月ヨリ三年  
マテノ獄ニ處ス可シ

第三百四十六條 凡前數條ノ法ヲ犯ス浮浪乞丐  
ノ徒ハ本刑満期ノ後尚ホ五年ヨリ十年マテノ  
警察ヲ受ケシムルコトアリ

第三百四十七條 凡ソ浮浪トハ居家無ク恒産無  
キ者ヲ云フ

○英吉利

凡職業ナク惰慢ニシテ市街ヲ囂亂シテ徘徊ス  
ル者ハ一ヶ月ノ入獄ニ苦役ヲ加ヘ処断スル  
ヲ欺キ物ヲ掠メクニ物ヲ乞求シ歷行スル者  
ハ三ヶ月ノ入獄ニ苦役ヲ加ヘ処断ス再度之  
ヲ犯シテ改正スヘカラサル者ハ仮リニ之ヲ  
入牢ニ苦役ヲ加ヘ年内四度ノ裁判所ノ開ク  
ヲ待テ其時ニ至テ更ニ一年ノ入獄ニ苦役打  
背罪ヲ加フ遊惰人徘徊市街

凡其身ヲ顧ミス酒ヲ酌ミ<sup>酔亂</sup>スル者ハ五シリ  
ングノ罰金ヲ七日内ニ出サシメ貧民ノ養贍  
料ト為ス再犯スル者ハ二人ノ保人ヲ定立シ  
各十封度ヲ出サシメ後日ノ善行ヲ保結セシ

ム  
若シ酒ヲ使ヒ狂暴淫亂等ノ行ヲ市街ニ於テ  
為ス者ハ四十シリシクニ止ル罰金ヲ出サシ  
メ且七日ノ入獄ニ処断ス酌酒醉亂

第八十二 埋葬及墳墓ニ関スル罪

○佛蘭西

第三百五十八條 官吏ノ允許ヲ受ク可キ規則  
アル場合ニ於テ其允許ヲ得スシテ死者ヲ埋  
葬セシ者ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カ  
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六アラ  
シクヨリ少カラス五十アラシクヨリ多カラ  
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則ト此  
罪ヲ犯シタル者更ニ他ノ重罪ヲ犯シタルニ  
付キ更ニ重キ刑ニ處セラル可キノ訴ヲ受ク  
可キ規則ト相觸ル、トナカル可シ  
又何レノ方法ヲ問ハス埋葬ヲ為スニ付テノ  
定期ニ背キシ者ハ同上ノ刑ニ処セラル可シ



第三百五十九條 殺害サレタル人又ハ創傷、毆  
 撃ヲ受ケテ死シタル人ノ死體ヲ掩蔽セシ者  
 ハ六月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時  
 間禁錮ノ刑ニ処セラレ且五十フランシクヨリ  
 少カラズ四百フランシクヨリ多カラサル罰金  
 ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則ト此罪ヲ犯セ  
 シ者人ヲ殺シ又ハ創傷、毆撃ヲ為タル重罪ニ  
 加リシ時更ニ重キ刑ニ處セラレ可キ規則ト  
 相觸ル、トナカル可シ

第三百六十條 墳墓ニ暴行ヲ加ヘシ者ハ三月  
 ヲリ少カラズ一年ヨリ多カラサル時間禁錮  
 ノ刑ニ處セラレ且十六フランシクヨリ少カラ  
 ス二百フランシクヨリ多カラサル罰金ノ言渡  
 ヲ受ク可シ但シ此規則ト其犯人ノ此暴行ニ  
 附加シテ犯シタル輕重罪ニ付キ受ク可キ刑  
 ト相觸ル、トナカル可シ

○獨逸

第百六十八條 官命ヲ以テ死骸ヲ看守スル人ヨ  
リ故ラニ之レヲ盜ミ又裸ニ墳墓ヲ毀テ又之レ  
ヲ損壞シ又其墳墓ヲ穢シタル者ハ十年ヨリ長  
カラサル禁獄ニ處シ仍ホ公権ヲ剽奪ス可シ

第三百四條 國內ニ設置シタル法教社中ノ尊敬

スヘキ目的ト為タル物件或ハ其禮拜堂ニ供シ

タル物件墓所ニアル石碑公碑圍リ飾ノ為メニ  
設置シタル塔其

他各種ノ博覽場ニ寄集シタル百工學術又ハ製

造ノ物件ハ一般ノ利益及街衢公園等ノ飾トナ

ルヘキ物件ヲ故ラニ又ハ不正ニ損壞シ又ハ之

レヲ破毀シタルモノハ三年ヨリ長カラサル禁

獄又ハ五百ターレルヨリ多カラサル罰金ニ處

ス可シ  
禁獄ノ外仍ホ公権ヲ剝奪ス可シ  
之ヲ犯サントセシ所業モ亦罰ス可シ

○白耳義

第三百十五條 凡當該官吏ノ允許ヲ得サル地ニ  
死人ヲ埋葬スル者及ヒ埋葬セシタル者埋葬場  
及「イニユマシヨシパレシピラー」〔未全ク死セサ  
ル者ヲ葬ルヲ云フ〕ノ條規ヲ犯ス者ハ八日ヨリ  
二月マテノ獄ニ處ス可ク若クハ二十六「アラレ  
ク」ヨリ三百「アラシク」マテノ罰金ヲ命ス可シ  
第四百五十三條 凡墓或ハ棺ヲ侵ス者ハ一月ヨリ一年マテノ  
獄ニ處シ二十六「アラシク」ヨリ二百「アラレク」マテノ罰金ヲ  
命ス可シ

○埃及

第二百十四條 何人ニ限ラス殺害ニ逢ヒシ人  
ノ屍ヲ隱匿シ又ハ相当ノ官吏ニ其殺害ノ由  
ヲ報告シテ檢屍ヲ受ケサル前ニ其屍ヲ埋葬  
シタル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カ  
ラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラレ且ツ百<sup>ロ</sup>ア  
ストル<sup>ル</sup>ヨリ少ナカラス五百<sup>ロ</sup>アストル<sup>ル</sup>ヨリ  
多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ但シ其犯人  
殺害ヲ罪ヲ犯セシ本人又ハ其同罪人タル時  
ハ此例ニ非ス

○英吉利

凡發塚シテ死屍ヲ盜シ因テ解剖ヲ為サレトス  
ル者ハ輕罪ニ坐シ贖罪及ヒ入獄ニ処断ス  
塚

第八十三 流行病及獸類流行病及獸類ヲ殺傷ス等罪

○佛蘭西

第四百五十九條 傳染病ニ罹ルノ疑フル獸類  
ヲ所有シ又ハ看守スル者其邑長ニ速カニ其  
事ヲ告知セサル者及ヒ邑長ニ其事ヲ告知ス  
ト雖モ其回報ヲ得ルノ前其獸類ヲ鎖閉シ置  
サル者ハ六月ヨリ少カラス二月ヨリ多カラ  
サル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フラン  
クヨリ少カラス二百フランクヨリ多カラサ  
ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百六十條 官署ノ禁制ニ背キ傳染病ニ罹  
リタル獸類ヲシテ他ノ獸類ト雜處セシメシ  
者ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル

時間禁錮ノ刑ニ処セラレ且百フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサセ罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百六十一條 若シ前條ニ記シタル獸類ヲ雜處セシメシニ因リ他ノ獸類ヲシテ傳染病ニ罹ラシメシ時ニ官署ノ禁制ニ背キ其罪ヲ犯シタル者二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサセ時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス千フランクヨリ多カラサセ罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則ト獸類ノ傳染病ニ管シタル法律及ヒ規則ヲ行フ事並ニ其法律及ヒ規則ニ背キタル罪ヲ罰ス可キ事ト相觸ル、トナカル可シ

第四百六十二條 若シ田野或ハ森林ノ看守人又ハ名義ノ如何ヲ問ハス警察官吏此一章ニ記シタル輕罪ヲ犯セシ時ニ其犯人ヲ禁錮スル期限一月ヨリ少カラス又其輕罪ノ他人犯人ヲ処ス可キ至重ノ刑ニ處ニ其三分一ヲ増加シタル時間ヨリ多カラサセ可シ

第四百五十二條 馬又ハ其他車ヲ挽シメ或ハ騎行ノ用ニ供シ或ハ物ヲ載スル用ニ供ス可キ獸類又ハ牛羊山羊豚又ハ池沼ニ養フ魚ニ毒物ヲ與ヘシ者ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサセ時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多カラサセ罰金ノ言渡ヲ受ク可シ又其犯人

ハ裁判所ノ言渡ニ因リ二年ヨリ少カラヌ五  
年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ケシ  
ムルヲ得可シ

第四百五十三條 己ムヲ得サルニ非スレテ前  
條ニ記シタル獸類ノ一ヲ殺セシ者ハ左ノ刑  
ニ處セラレ可シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置シ者ノ所有シ又ハ借受  
シ家屋又ハ繞圍ヲ為シタル場所又ハ其附屬  
ノ場所又ハ土地内ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル  
時ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル  
時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ  
若シ犯人ノ所有シ又ハ借受ケシ場所ニ於テ  
此輕罪ヲ犯シタル時ハ六日ヨリ少カラス一

月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ  
可シ

若シ前ノ二項ニ記シタル以外ノ場所ニ於テ  
此輕罪ヲ犯シタル時ハ十五日ヨリ少カラス  
六週ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ  
レ可シ

何レノ場合ニ於テモ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪  
ヲ犯セシ時ハ其刑中ノ至重ノ刑ニ處セラレ  
可シ

第四百五十四條 己ムヲ得サルニ非スレテ家  
畜獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有シ又ハ借受ケ  
シ場所ニ於テ其獸類ヲ殺セシ者ハ六日ヨリ  
少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑



ニ処セラレ可シ

若シ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯セシ者ハ其刑中ノ至重ノ刑ニ処セラレ可シ

第四百五十五條 第四百四十四條ヨリ前條ニ至ル迄ノ各條ニ記シタル場合ニ於テハ其犯人損失償高ノ四分一ヨリ少カラス十六アラシクヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○獨逸

第三百二十七條 傳染病ノ流傳又其蔓延ヲ豫防スル為メ該務ノ官司ヨリ設ケタル拒絕法又ハ監察又ハ禁制等ヲ知リテ故ラニ犯シタル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ若シ其犯罪ニヨリ人ヲシテ其傳染病ニ罹ラレメタル片ハ三月ヨリ短カラス三年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

第三百二十八條 禽獸ノ傳染病ヲ流傳又其蔓延ヲ豫防スル為メ該務ノ官司ヨリ設ケタル拒絕法、監察、又ハ禁制等ヲ知リテ故ラニ犯レタル片ハ一年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ若シ其犯罪ニヨリ禽獸ヲシテ傳染病ニ罹ラレ

メタルモノハ一月ヨリ短カラス二年ヨリ長  
カラサル禁獄ニ處スハレ

獨 罰ニツキ書スハレ

第百九十二條 官許ナキ場所ニテ獵狩ヲ為  
シタルモノハ百ターレレヨリ多カラサル罰  
金又ハ三月ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ  
罰ヲ待ツテ其罪ヲ論ス可シ

第百九十三條 火器又ハ獵犬ヲ用ヒス氏窩  
弓抗<sup>ナシ</sup>穿<sup>シ</sup>及ヒ其他ノ機具ヲ以テ鳥獸ヲ追ヒ取  
リタル時又ハ禁狩ノ節夜間森林ニテ其禁ヲ  
犯シ又ハ敷人<sup>シ</sup>ヲテレヲ犯シタル片ハ二千  
ターレレヨリ長カラサル罰金及ヒ六月ヨリ  
長カラサル禁獄ニ處スル丁ヲ得可シ

第百九十四條 官許ナク獵狩ヲ業トスル者  
ハ三月ヨリ短カラサル禁獄ニ處シ其餘公權

ヲ剥奪シ及ヒ政府ノ監察ニ付ス可シ

第二百九十五條 獵狩犯罪ニ付處刑共ニ犯人

ノ犯事ノ時ニ用ヒタル小銃狩獵ノ機具及ヒ

獵犬並ニ窩弓網阮穿其他器具等其犯人ニ屬

スルヤ否ヲ問ハス皆沒收ス可シ

第二百九十六條 官許ナク炬火危害トナルハ

キ又ハ破烈スヘキ物件ヲ使用シテ夜間魚鱈

ヲ漁シタル者ハ三百ターレルヨリ多カラサ

ル罰金又ハ六月ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス

ヘシ

訥ヲ待ツテ其罪ヲ論ス可シ

○白耳義

第三百十九條 凡官ノ成規ニ準ス可キ獸類傳漆

病ヲ其主人或ハ其番人直チニ住色ノ里正ニ告

ケサル者若クハ告クル後里正ノ答ヲ待タス外

ニ放チ出ス者ハ八日ヨリ二月マテノ獄ニ處シ

ニ十六アヲレクヨリ二百アヲレクマテノ罰金

ヲ命ス可シ

第三百二十條 凡官吏ノ命ヲ用ヒス病獸ヲ他ノ

獸ニ近カシムル者ハ二月ヨリ六月マテノ獄ニ

處シ一百アヲレクヨリ五百アヲレクマテノ罰

金ヲ命ス可シ

第三百二十一條 凡前條ノ法ヲ犯シ他ノ獸類ニ

其病ヲ傳漆セシムル者ハ六月ヨリ三年マテノ

獄ニ處シ一百ヲラレクヨリ三千ヲラレクマテ  
ノ罰金ヲ命ス可シ

○埃及

第三百十九條 何人ニ限ラス已ムラ得サルニ  
非スレテ他人ニ屬スル馬或ハ其他車ヲ挽カ  
シメ騎行ノ用ニ供シ物ヲ載スル用ニ供ス可  
キ獸類或ハ他人ニ屬スル其他ノ家畜獸ヲ改  
ラニ殺シタル者ハ左ノ刑ニ処セラル可シ  
若シ其獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有シ又ハ土  
地借受人ノ所有スル家屋又ハ繞圍ヲ為シタ  
ル場所又ハ其附屬ノ場所又ハ其土地内ニ於  
テ右ノ罪ヲ犯シタル時ハ一月ヨリ少ナカラ  
ズ六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セ  
ラル可シ  
若シ犯人ノ所有シ又ハ借受ケシ場所ニ於テ

右ノ罪ヲ犯シタル時ハ一週ヨリ少ナカラス  
一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラ  
ル可シ

若シ總ラ其他ノ場所ニ於テ右ノ罪ヲ犯シタ  
ル時ハ十五日ヨリ少ナカラス一月半ヨリ多  
カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セララル可シ

第三百二十條 前條ニ記スル獸類又ハ池沼中  
ノ魚ヲ毒ヲ以テ殺セシ者ハ三月ヨリ少ナカ  
ラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処  
セララル可シ

第三百二十一條 第三百十八條第三百十九條

第三百二十條ニ記シタル總テノ場合ニ於テ  
ハ其犯人二十<sup>ト</sup>アストルヨリ少ナカラス二

百<sup>ト</sup>アストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サ  
ル可シ

○英吉利

傳流ス、キ病人ヲ路頭行人多キ所ニ置キ一般ノ人民ヲ煩惱スル者モ贖罪入獄ニ処断ス若シ濫リニ器聲ヲ発シ若クハ娼妓ヲ窩藏シ或ハ官許アラサル示衆物嬉遊等ヲ為ス房屋第廠ハ人民一般ノ煩惱ニ係レハ崩壊シテ贖罪ヲ出サレハ其房主ハ入獄ニ苦役ヲ加ヘテ処断ス惱煩一般人民

凡夜ノ地内ニ於テ禽獸ヲ獲殺シ或ハ之ヲ獲シト欲シ砲銃網罟其餘ノ器械等ヲ携ヘル者ハ初犯ハ三月ニ止ル入獄ニ処シ若クハ苦役ヲ加テ限滿テ一年ノ善行ヲ保結マレム如シ保人ヲ得サル時ハ更ニ六ヶ月ノ入獄ニ処断

不但保人ヲ得レハ免ルス再犯ハ六ヶ月ノ  
 入獄ニ二年ノ保結セシム如シ保人ヲ得サレ  
 ハ更ラニ一年ノ入獄ヲ加フ三犯ハ輕罪ニ坐  
 シ三年ヨリ七年ニ至ル徒罪ニ如シ或ハ二年  
 ニ止ル入獄ニ如シ若クハ苦役ヲ加フ  
 若シ地主奴僕等ノ捕追セントスルヲ犯人器  
 械等ヲ以テ之ヲ拒防スル者ハ輕罪ニ坐シ五  
 年ヨリ十四年ノ徒罪ニ如シ或ハ二年ニ止ル  
 入獄ニ苦役ヲ加フ夜獲殺禽獸干入地内  
 凡馬驢牛羊猫犬等ヲ殘酷クハユルタイニ毆打驅逐飼養スル  
 者ハ治安裁判所ニ於テ五封度ニ過サズ罰金  
 ヲ追徴ス  
 若シ因テ殘傷スル者ハ十封度ニ至ル償金ヲ

其本主ニ與ヘシム  
 若シ馬驢牛羊等ヲ他所ニ遞送スル中途ニ於  
 テ故ナリ暴殘ニ束縛毆打シ或ハ牛鬪鷄鬪ヲ  
 弄スル者モ罪亦同シ殘酷クハユルタイ畜獸  
 凡馬牛羊豚ヲ故ラニ損害スル者ハ重罪ニ吐シ  
 十四年ニ至ル徒罪ニ如断ス損害馬牛羊豚

第八十四 囚人逃亡及犯人ヲ藏匿スル等ノ罪

○佛蘭西

第二百三十七條 囚徒ノ逃亡シタル時ハ之ヲ  
伴行シ又ハ押送シ又ハ看守スル裁判所ノ使  
吏或ハ護國兵護送兵守備兵ノ總督又ハ其下  
役或ハ門監獄監後ノ教條ニ記スル刑ニ處セ  
ラル可シ

第二百三十八條 一千八百六十三年五月十三日  
如左改正其逃亡シタル囚徒輕罪又ハ加辱ノ  
ミノ刑ヲ受ク可キ重罪ヲ訴ハラレシ者又ハ  
既ニ其刑ヲ言渡サレシ者タル時又ハ其囚徒  
戰鬥ニテ虜獲シタル者タル時其看守又ハ伴  
行ヲ為ス者懈怠ノ罪アルニ於テハ六日ヨリ



シカラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

若シ其囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサルニ於テハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

囚徒ノ看守又ハ伴行ノ任ヲ受テサル者其囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ逃亡ヲ容易ナラシメタル時ハ六日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

第二百三十九條 其逃亡シタル囚徒有期ノ施體ノ刑ニ處ス可キ重罪ヲ訴ヘラレシ者又ハ既ニ其刑ヲ言渡サレシ者タル時其看守又ハ伴行ヲ為ス者懈怠ノ罪アルニ於テハ二月ヨ

リ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ若シ其逃亡ヲ知テ捕獲セサルニ於テハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セラレ可シ

囚徒ノ看守又ハ伴行ノ任ヲ受テサル者囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ナラシメタル時ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

第二百四十條 逃亡シタル囚徒死刑或ハ無期ノ刑ニ處ス可キ重罪ヲ訴ヘラレシ者又ハ既ニ此刑ニ言渡サレシ者タル時其看守又ハ伴行ヲ為ス者懈怠ノ罪アルニ於テハ一年ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑

ニ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知テ捕獲セサ  
 ルニ於テハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ  
 囚徒ノ看守又ハ伴行ノ任ヲ受サレ者囚徒ヲ  
 シテ逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ナラシメタル  
 時ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル  
 時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ  
 第百四十一條 一千八百六十三年五月十三日  
 如左改正囚徒ノ暴行ヲ以テ逃亡シ或ハ獄舎  
 ヲ毀テ逃亡シタル時ハ其逃亡ヲ為スニ用立  
 タル器具ヲ貸シテ其逃亡ヲ助ケタル者左ノ  
 刑ニ處セラル可シ  
 若シ逃亡シタル囚徒第百三十八條ニ記シ  
 タル場合中ノ者タルニ於テハ其器具ヲ貸シ

テ逃亡ヲ助ケタル者三月ヨリ少カラス二年  
 ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ又  
 第百三十九條ニ記シタル場合中ノ者タル  
 ニ於テハ一年ヨリ少カラス四年ヨリ多カラ  
 サル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ又第百四十  
 條ニ記シタル場合中ノ者タルニ於テハ二年  
 ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮  
 ノ刑ニ處セラレ且五十「フランク」ヨリ少カラ  
 ス二千「フランク」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡  
 サル可シ  
 但シ逃亡シタル囚徒第百四十條ニ記シタ  
 ル場合中ノ者タルニ於テハ其器具ヲ貸シテ  
 逃亡ヲ助ケシ者其刑ニ處セラレ日ヨリ五

年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル 時間第  
四十二條ニ記シタル權利ヲ行フノ禁ヲ受ケ  
シムルコトヲ得可シ

第百四十二條 前ニ記シタル何レノ場合ニ  
於テモ其囚徒ノ看守人或ハ獄監ニ賄賂ヲ遺  
リ又ハ看守人或ハ獄監ト相謀リ囚徒ヲシテ  
逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ナラシメタル者ハ  
其看守人或ハ獄監ト同一ノ刑ニ處セラレ可  
シ

第百四十三條 囚徒ニ兵器ヲ貸渡シ其獄舎  
ヲ毀テ又ハ暴行ヲ為シテ逃亡スルヲ助ケタ  
ル時ハ其兵器ヲ貸渡スルニ加ハリ看守人  
或ハ伴行人ハ無期ノ徒刑ニ處セラレ其他ノ

者ハ有期徒刑ニ處セラレ可シ

第百四十四條 囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサ  
ル者ハ其囚徒ヨリ損失ノ償ヲ得可キ權アリ  
者ニ對シ相連帶シテ其償額ヲ出ス可キノ言  
渡ヲ受ク可シ

第百四十五條 獄舎ヲ毀テ又ハ暴行ヲ為シ  
テ逃亡シ又ハ逃亡セント試ニ為シタル囚徒  
ハ其所行ノミヲ以テ六月ヨリ少カラス一年  
ヨリ多カラサル 時間禁錮ノ刑ノ言渡ヲ受ク  
可シ且其囚徒ハ前犯ノ重輕罪ニ付キ處セラ  
レタル刑期ノ終リシ後直チニ此刑ヲ受ケ又  
ハ其訴ハラレシ輕重罪ヲ宥恕スル裁判言渡  
ヲ受ケシ後直チニ此刑ヲ受ク可シ但シ此規

則ト其囚徒ノ暴行ヲ為シテ逃亡シタル時犯  
シタル他ノ重罪ノ為メ更ニ重キ刑ニ處ス可  
キ規則ト相觸ル、トナカレ可シ

第二百四十六條 囚徒ノ逃亡ヲ助ケ又ハ囚徒  
ノ逃亡セシメント為ス謀試ヲ助ケタルニ因リ六  
月以上ノ時間禁錮ノ刑ニ處セラレシ者ハ五  
年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政  
府ノ監察ヲ受ケシムルヲ得可シ

第二百四十七條 若シ其囚徒逃亡ノ時ヨリ四  
月内ニ其逃亡後ニ他ノ犯罪ナク逮捕ヲ受ケ  
又ハ自訴シタル時ハ嘗テ懈怠ノ罪ヲ犯セシ  
其伴行者又ハ看守者禁錮ノ刑ヲ免カル可シ  
第二百四十八條 施體ノ刑ニ處セラレ可キ重

罪ヲ犯セシトテ知リ其犯人ヲ隱匿シ又ハ隱  
匿セシメシ者ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ  
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ  
若シ隱匿シタル者犯人ノ尊屬ノ親及ヒ卑屬  
ノ親又ハ既ニ離婚シタルニ管マシ其配偶者  
兄弟姉妹又ハ同上ノ級ノ姻族ノ親ナル時ハ  
前條ノ規則ノ例外ナリトス

○ 獨逸

罰條

第百十八條 抗拒暴行ヲ為スニヨリ其人ノ身  
 體ヲ傷スル時ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ  
 處レ若シ酌量輕減アル時ハ三月ヨリ短カラ  
 サル禁獄ニ處ス可シ  
 第百十九條 百十七條及ヒ百十八條ニ載セ  
 タル所業ノ一ヲ多數人ニテ犯シタル片ハ其  
 刑法律ニ載セタル本刑ノ長期ノ央ニ加増ス  
 レトヲ得可シ  
 然レモ其禁獄ハ五年以上ニ及ホス可カラズ  
 第百二十條 故ラニ獄内ノ囚人ヲ解放シ又其  
 囚人ヲ軍隊及ヒ官吏又ハ巡察護送看守者ノ  
 手ヨリ逃亡セシメ又囚人自ラ逃亡セントス

處。  
做ハ

ルヲ故ラニ助成シタル者ハ三年ヨリ長カラ  
ナル禁獄ニ處シ之レヲ犯サントセシ所業モ  
亦々刑ニ處ス可シ  
第百二十一條 囚人ヲ監察又護送スレノ任ヲ  
受ケタル者其囚ヲ故ラニ逃亡セシメ又囚ヲ  
シテ逃亡ヲ得セシメタル者ハ三年ヨリ長カ  
ラサル禁獄ニ處ス可シ  
疎虞懈怠ニ因テ其逃亡ヲ容易ニ為サレメタ  
ル者ハ三月ヨリ長カラサル禁獄又百タール  
ルヨリ多カラサル罰金ニ處ス可シ  
第百二十二條 囚人徒黨ヲ為レ且多勢ニテ獄  
場官吏又ハ其監察官ヲ襲ヒ或ハ官吏ニ抗拒  
シ又ハ強制ヲ以テ或ル事ヲ為サレメ又之レ

ヲ廢止セシメント企テタル者ハ暴動ノ罪ト  
ナレ六月ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス可シ  
囚人徒黨ヲナレ且多勢ニテ暴行ヲ以テ逃亡  
ヲ企テタル者ハ同刑ニ處ス可シ  
其場所ノ官吏及監察官ニ對シ暴行ヲ為シタ  
ル者ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處シ其餘  
政府ノ監察ニ付ス丁ヲ得可シ  
第百四十七條 官吏自カラ看守護送照管ス  
ハク委託サレタル囚人ヲ故ラニ逃亡セシメ  
又ハ其逃亡ヲ取扱ヒ又ハ之レヲ得セシメタ  
ル者ハ五年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ若レ  
酌量輕減アル片ハ一月ヨリ短カラサル禁獄  
ニ處ス可シ

若シ免忽懈怠ニヨリ、其逃亡ヲ得セシメ又ハ  
容易ナラレシメタル者ハ六月ヨリ短カラサル  
禁獄或ハ二百ターレルニ至ル罰金ニ處ス可  
レ

○白耳義

第三百三十二條 凡罪囚逃亡スル有レハ其並  
守タル者ヲ罰スル左ノ如クス可シ

第三百三十三條 凡輕罪ノ首謀其被告人或ハ  
軍俘ノ逃亡ヲ覺ラサル者ハ八月ヨリ三月マ  
テノ獄ニ處ス可シ

其故ラニ縱ス者ハ六月ヨリ二年マテノ獄ニ  
處ス可シ

第三百三十四條 凡重罪首謀或ハ其被告人或  
ハ外國政府ハ引渡ス可キ罪囚ノ逃亡ヲ覺ラ  
サル者ハ十五日ヨリ一年マテノ獄ニ處ス可  
シ其故ラニ縱ス者ハ一年ヨリ五年マテノ獄  
ニ處ス可シ

第三百三十五條 凡盜主ニ非ル外人ニシテ囚

獄ニ逃亡ノ便ヲ興ル者ハ第三百三十三條ノ

罪囚タルハ十五日ヨリ一年マテノ獄ニ處ス

可ク第三百三十四條ノ罪囚タルハ三月ヨリ

二年マテノ獄ニ處ス可シ

罪囚ノ尊族或ハ卑族ノ親其夫妻(離縁スル者

ト並<sub>レ</sub>氏)兄弟姉妹若クハ同級ノ外戚タル者其

罪囚ヲシテ逃亡ノ方法ヲ得セシムル者ハ論

ル勿<sub>レ</sub>シ等同級ノ外戚トハ尊卑族ト同級ノ外戚

ヲ云テ得即タル昏親戚ナリ

第三百三十六條 凡獄囚強暴脅迫若クハ破獄

シテ逃走セントスル者ハ成否ヲ論セス其暴

行ニ便スルノ具ヲ得セシムル者ヲ罰スル左

ノ如シ

若シ第三百三十三條ノ罪囚タルハ監守ハ二

年ヨリ五年マテノ獄ニ處シ外人ハ三月ヨリ

二年マテノ獄ニ處ス可シ

第三百三十四條ノ罪囚タルハ監守ハ監役外

人ハ六月ヨリ三年マテノ獄ニ處ス可シ

第三百三十七條 凡<sub>ソ</sub>獄囚強暴脅迫若クハ破

獄シテ逃走セントセハ成否ヲ論セス其暴行

ニ便スル兇器ヲ獄囚ニ授クル者ヲ罰スル左

ノ如シ

第三百三十三條ノ罪囚タルハ監守ハ監役外

人ハ二年ヨリ五年マテノ獄ニ處ス可シ

第三百三十四條ノ罪囚タルハ監守ハ十年ヨ

リ

リ



リ十五年マテノ懲役ニ外人ハ監役ニ處ス可シ

第三百三十八條 凡ソ警察ヲ受クル者第三十

五條ノ法ニ違フ者レハ八日ヨリ一年マテノ

獄ニ處ス可シ

第三百三十九條 凡重罪首謀ニ斷決スル者

若クハ追捕ナル者ハ情ヲ知テ陰匿シ又ハ

陰匿セシムル者ハ八日ヨリ二年マテノ獄ニ

處シ二十六フランクヨリ五百フランクマテ

ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百四十條 凡ソ殺害セラル者若クハ毆

傷ニ因テ死ニ至ル者ノ遺骸ヲ陰匿シ或ハ陰

匿セシムル者ハ三月ヨリ二年マテノ獄ニ處

シ五十フランクヨリ六百フランクマテノ罰

金ヲ命ス可シ

第三百四十一條 凡尊族卑族ノ親夫妻離縁ス

ル者ト雖兄弟姉妹及ヒ同級ノ戚族ニレテ前

條ニ掲載セル人命犯罪ノ首従若クハ毆傷ノ

首従ヲ陰匿スル者ハ論スル勿レ

第二百六十六條 凡重輕罪ノ警戒鎮撫追捕ニ任スル

官吏タル者反テ其重輕罪ニ典ミスル者ハ本犯ト同

科ニ處ス可ク其獄ニ該ル者ハ至輕ラ一倍ス至輕ハ二十

一倍ス即チ五十二日

其監役禁錮及有期懲役ニ該ル者ハ其至輕ニ二

年ヲ加フ

族

○瑛及

第百四十六條 有期ノ刑ヲ言渡サレシ者其獄  
舎ヲ逃亡シ又ハ此獄舎ヨリ彼獄舎ニ移入逃  
中逃亡シタル時ハ其當テ獄ニ繫カレシ刑期  
ノ半ハニ當レル刑ニ知セラル可シ

第百四十七條 有期ノ追放ノ刑ニ知セラレシ  
者ノ逃亡シタル時ハ獄舎内ニ於テ掌ヲ受ケ  
タル刑ノ殘餘ト逃亡ノ馮メノ刑トヲ受ク可  
シ

無期ノ追放ノ刑ニ知セラレシ者ノ逃亡シタ  
ル時ハ無期ノ繫獄ノ刑ニ知セララル可シ  
無期ノ繫獄ノ刑ニ知セラレシ者ノ逃亡シタ  
ル時ハ無期ノ徒刑ニ知セララル可シ

第百四十八條

預防ノ為メ逮捕セラレシ者ノ  
逃亡シタル時ハ其者ノ引出狀又ハ拘留狀ヲ  
受ケタルト否トヲ問ハス六月ヨリ少ナカラズ  
一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラ  
ル可シ但シ其刑ハ右逮捕ノ原目タル輕重罪  
ニ付テノ刑ト互ニ消殺スルヲ得可カラス又  
其刑期ハ右輕重罪ニ付テノ刑期ノ終リシ日  
ヨリ之ヲ算シ或ハ保証人ヲ之テ假リニ自由  
ヲ得セシメ又ハ無罪及ヒ叙放ノ言渡ヲ為シ  
タルニヨリ預防ノ為メノ逮捕ヲ止メタル日  
ヨリ之ヲ算フ可シ

第百四十九條

犯人ノ監守人ニ非サル者犯者  
ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ逃亡ヲ容易ナラ

シメタル時ハ一週ヨリ少ナカラズ六月ヨリ  
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セララル可シ

第百五十條

犯人ノ監守ヲ任セラレタルト否  
ヲ問ハス犯人ノ逃亡ヲ助クル為メ兵器又ハ  
人ニ暴行ヲ加フルニ適スル器具ヲ貸與シタ  
ル者ハ有期ノ徒刑ニ処セララル可シ

第百五十一條

犯人ノ監守ヲ任セラレシ者金  
額又ハ其他ノ贈物ヲ受ケ又ハ特別ノ約束ニ  
ヨリ犯者ニ逃亡ヲ得セシメタル時其犯人ノ罪  
死刑、無期ノ徒刑、無期ノ繫獄ノ刑ニ処セラ  
ル可キモノタルニ於テハ其監守人其受ケタル  
金高ニ倍スル罰金ヲ言渡サレ且ツ有期ノ徒  
刑ニ処セララル可シ○又犯人ノ罪前ニ記スル

所ヨリ更ニ輕キモノタル時ハ其監守人納賄  
ノ刑ニ処セラル可シ但シ其刑ハ賄賂ヲ贈リ  
又ハ約束ヲ為セシ者ヲ処ス可キ刑ト同一タ  
ル可シ

第百五十二條 何人ニ限ラス重罪犯人ノ逃亡  
シタルヲ知り又ハ其処刑ヲ適レシヲ知り之  
ヲ隱匿シタル者或ハ裁判所ヨリ重罪被告人  
ヲ捕獲ス可キ命令アルヲ知り之ヲ隱匿シタ  
ル者ハ六月ヨリ少ナカラス二年ヨリ多カラ  
サル時間禁錮ノ刑ニ処セラル可シ○犯人ノ  
尊屬又ハ卑屬ノ親其配偶者兄弟姉妹及ヒ之  
レト同級ノ姻屬ノ親ハ此限ニ非ス  
若シ輕罪ノ犯人又ハ輕罪被告人ヲ隱匿シタ

ル時ハ一月ヨリ少ナカラス三月ヨリ多カラ  
サル時間禁錮ノ刑ニ処セラル可シ

○英吉利

凡謀反大逆重罪等ヲ犯ス所ノ罪囚獄舎ヲ破壊

シテ逃走スル者ハ五年ヨリ七年ニ至ル徒罪

ニ処レ或ハ二年ニ止ム入獄ニ処ス若クハ苦

役隘牢打背罪ヲ本罪ニ加ヘテ処断ス

若シ輕罪ノ罪囚鎖閉セラレ、所ヨリ破壊シ

テ逃走スル者ハ第一等ノ輕罪ニ処シ贖罪及

ヒ入獄ニ処断ス

若シ徒罪ノ囚其年限内ニ於テ逃走スル者ハ

先ツ四年ニ止ム入獄ニ処シ若クハ苦役ヲ加

ヘ後終身ノ徒罪ニ処ス或ハ二年ニ止ム入獄

若クハ苦役ヲ加フ 獄囚在逃

凡獄吏ノ事務ヲ怠惰シ因テ獄囚ヲ在逃セシム

ル者ハ贖罪ニ処断ス如シ止々捕獲シテ未タ  
 入獄セサル者ヲ在逃セシムル者モ罪亦同  
 若シ故ラニ囚犯ヲ縱容シテ在逃セシムル者  
 ハ囚犯ノ罪ト同シ止々本犯ノ已ニ決罪セラ  
 ル、ヲ待テ後其罪ニ同ク処断スヘシ  
 若シ常人ノ罪犯ヲ捕獲シ未タ捕吏ニ送通セ  
 サル前ニ逃遁セシムル者モ罪亦同シ逃使囚在  
 凡謀殺ヲ犯ス所ノ罪囚ヲ獄内刑場若クハ中途  
 ヲリ劫奪スル者ハ並ニ未タ全ク得スト雖モ  
 重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ処シ  
 或ハ二年ニ止ル入獄ニ処ス若クハ苦役及ビ  
 隘牢ヲ加フ  
 若シ軍中ノ獲囚ヲシテ逃走スル丁ヲ得セシ

ムル者モ罪亦同シ

若シ重罪ニ該ル罪囚ヲ劫奪スル者ハ同ク重  
 罪ニ坐シ五年ヨリ七年ニ止ル所ノ徒罪ニ処  
 シ或ハ一年ヨリ三年ニ至ル入獄ニ処シ若ク  
 ハ苦役ヲ加フ

若シ徒罪ニ該ル罪囚ヲ護送スル中途ニ於テ  
 之ヲ劫奪シ或ハ未タ全ク奪去セスト雖モ重  
 罪ニ坐シ四年ニ至ル入獄ニ処シ若クハ苦役  
 ヲ加ヘ終身ノ徒罪ニ処断ス或ハ二年ニ止ル  
 入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

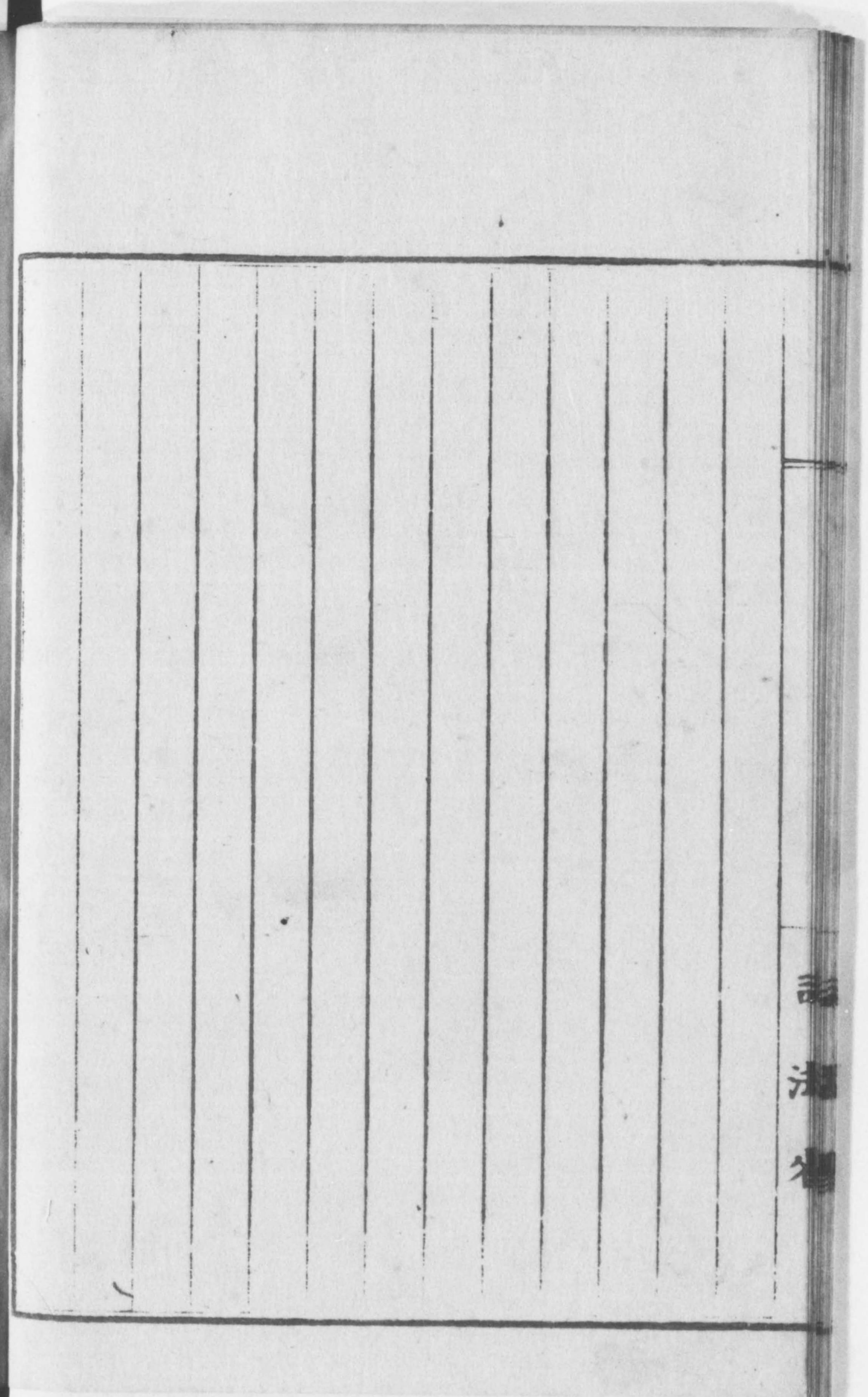
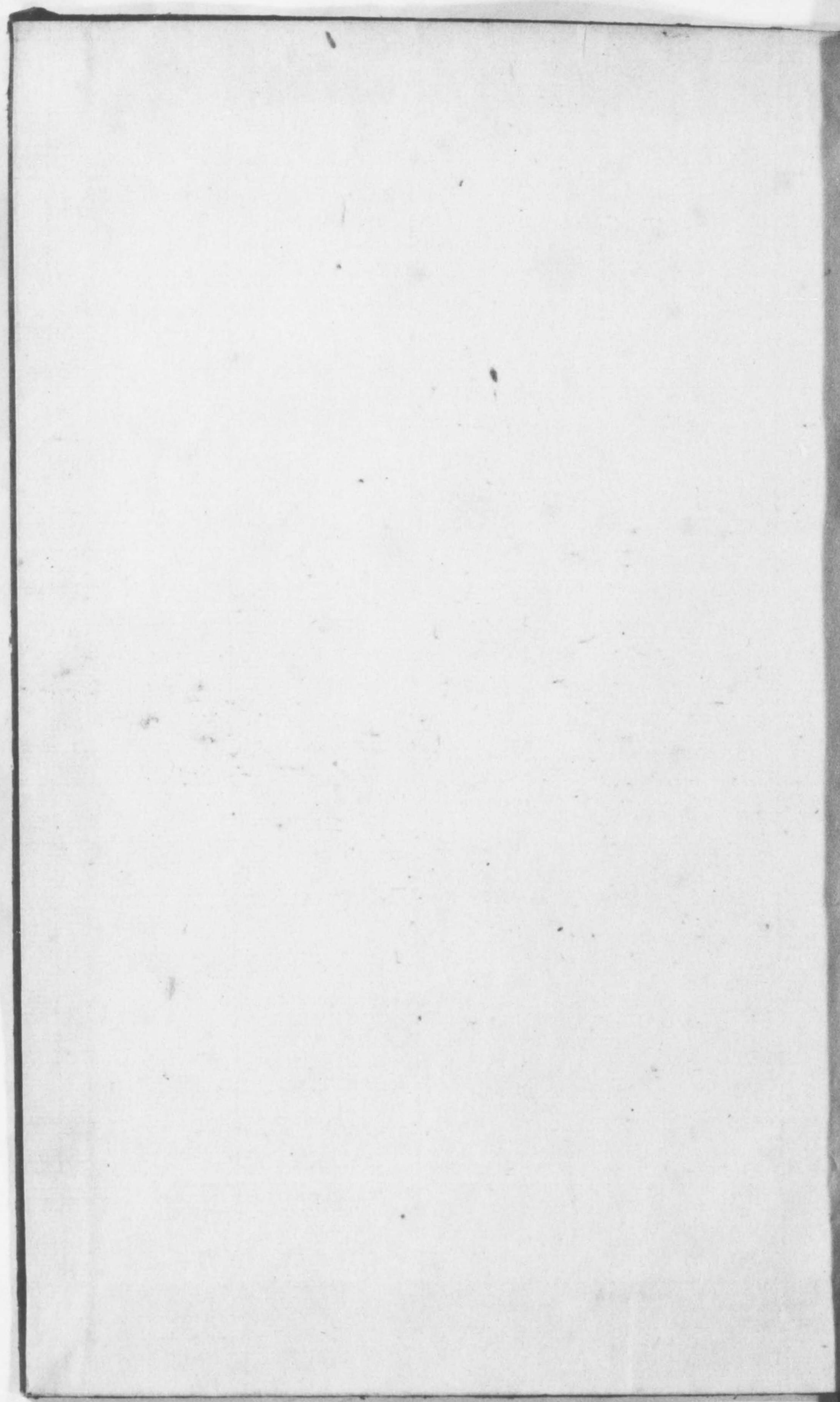
若シ囚犯ノ逃走セシトスルヲ助力シ或ハ逃  
 走スルヲ助クヘキ器物ヲ囚ニ與フル者ハ  
 重罪ニ坐シ二年ニ止ル入獄ニ処シ若クハ苦

役ヲ加フ劫囚

凡財物ヲ受ケ因テ事主ノ為メニ其盜マル、所  
ノ贓物ヲ搜索スル後其本犯ヲ訪究シ官司ニ  
告知捕致セサル者ハ重罪ニ坐シ二年ニ止ル  
入獄ニ処レ若クハ苦役隘牢ヲ加ヘ或ハ五年  
ヨリ七年ニ止ル徒罪ニ処断ス如シ男子年十  
六以下ノ者犯スハ更ニ打背罪ヲ加フ但タ判  
事ノ適意ニ依テ処断ス搜索盜罪不告捕官司  
凡捕獲ス、キ官吏重罪ヲ犯ス所ノ罪人ヲ見テ  
捕獲セス隱匿スル者ハ重罪ニシテ輕悔スルノ罪  
ニ坐シ一年一日ノ入獄ニ処断ス  
若シ平人之ヲ見テ官司ニ告ケス隱匿スル者  
ハ一年ニ過サル入獄ニ処レ及ヒ判事ノ適意

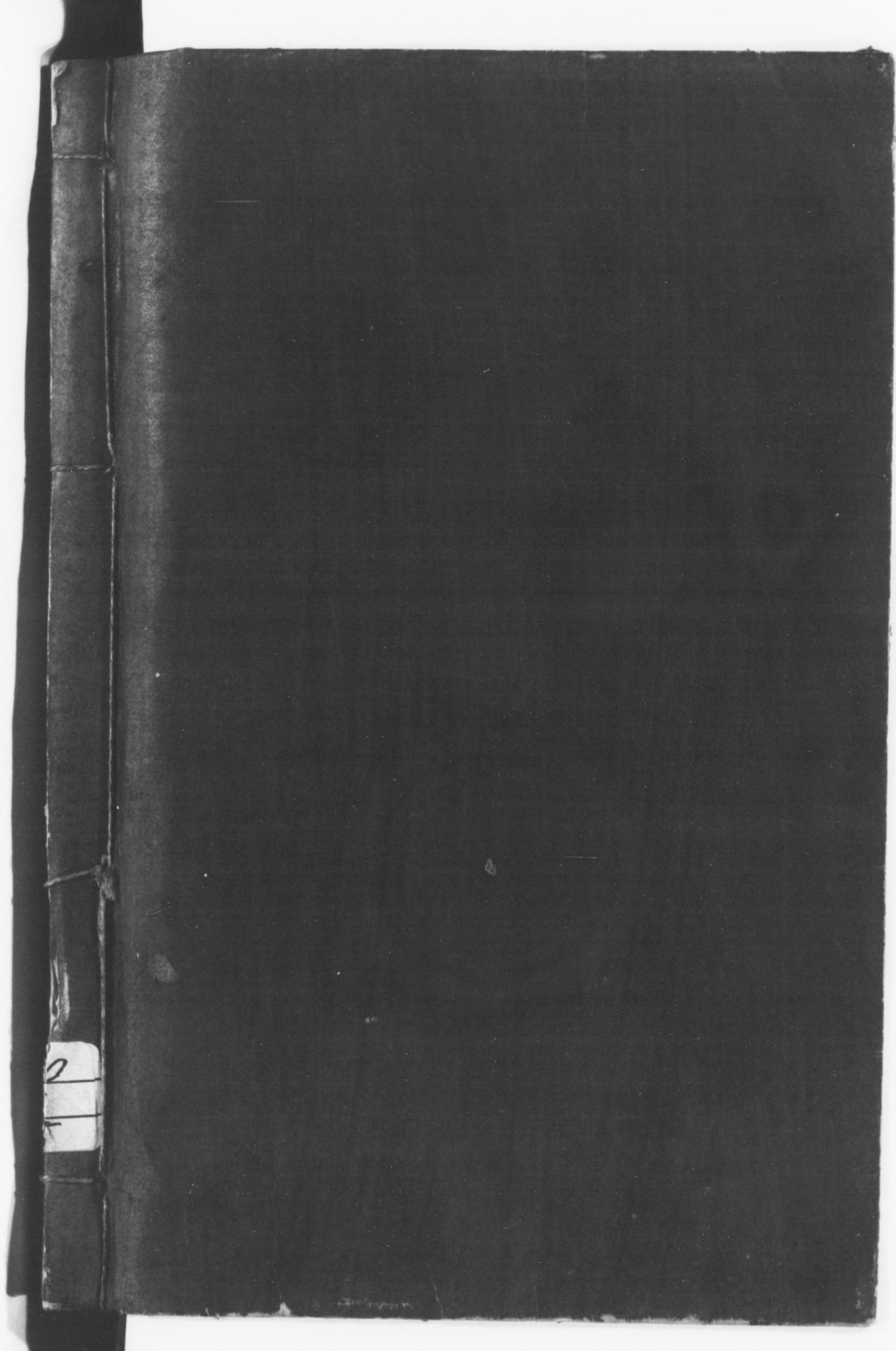
ニ依テ贖罪ニ処断ス不捕獲罪犯

凡重罪ヲ犯シテ囚獄セラレ、罪犯ニ獄ヲ破壊  
ス、キ器械ヲ與、在逃セシメントスル者ハ  
重罪ノ從ヲ以テ論ス其尋常ノ衣物等ヲ與フ  
ル者ハ論セス  
若シ獄吏ニ賄賂ヲ送リテ在逃セシメントス  
ル者モ亦重罪ノ從ヲ以テ論ス與囚器械在逃  
凡人ヲ毆殺スル罪犯ヲ隱匿スレモ其傷セラレ  
、人己ニ傷残ヲ經ル後ニアリテ未タ死亡セ  
サル前ニ附從スレハ毆殺ノ從ヲ以テ論スル  
トテ許サス隱匿重罪



三  
法  
卷





2